

折に触れ 四字熟語

NO. 220 『哀哀父母』 あいあい ふぼ

< 意味 > 子を産み育てて苦勞を重ねてくれた父母。苦勞を重ねて死んだ父母の死と、その恩に報いることができなかつたことを悲しみ嘆き、親を慕う情を表した語。「哀哀たる父母」とも読む。

< 出典 > 『詩經』小雅・蓼莪 しょうが りくが 「哀哀たる父母、吾を生みて劬くろ勞す」

語 釈：「哀哀」は悲しむさま。

一 言：今年は5月8日が母の日でした。私の母はいわゆる戦争未亡人で、戦後の大変な時期に苦勞して4人の子供を育て上げました。その母も亡くなってもう50年以上が経ち、さすがに涙するような悲しみはありませんが、時に触れ母への恩を思います。

参照文献：岩波書店「四字熟語辞典」